

令和8年1月8日

第20号

11月28日撮影



玉工通信

〒 311-3501 茨城県行方市芹沢1552
TEL 0299-55-0138 FAX 0299-55-3454
<http://www.tamatsukuri-th.ibk.ed.jp>



11月29日(土) 学校公開及び生徒発表会

(1) 授業公開(在校生保護者)

(2) 学校公開説明会(中学生・保護者)

○学校概要説明(学校長挨拶・学校概要説明)

○体験実習

【旋盤実習】 金属コマを作ってみよう。

【金属加工実習】 ネームプレート(キーホルダー)を作ってみよう。

【電気工事实習】 家庭の電気配線を作ってみよう。

【プログラム実習】 コンピュータのプログラムを体験しよう。

(3) 生徒発表会(工業研究部 電気工事班 実演発表)

(中学生とその保護者、中学校教員、本校保護者、在校生)

☆令和7年度第24回関東甲信越地区電気工事コンテスト 優勝

3年B組 羽生 柊也(麻生中出身)

☆令和7年度第24回関東甲信越地区電気工事コンテスト 準優勝

2年B組 橋本 威吹(玉造中出身)



たまこう行事予定

12月 8日(月)~
12月17日(水)~23日(火)
12月23日(火)
1月 8日(木)
1月 中旬
1月23日(金)
1月27日(火)~30日(金)

マナーアップ週間
三者面談 短縮日課4h
閉講式
開講式、PM授業
各科の題研究発表会
課題研究各科代表発表会
3年学年末考査

11月30日（日）科学の祭典 会場（鉾田北中学校）



12月5日（金）交通講話

行方警察署交通課 生井澤 重之 様



12月19日（金）原付バイクー斉点検

灯火類、タイヤ、ブレーキ、車体の破損等を点検



12月23日（火）閉講式 表彰式



○工業研究部(3B 羽生 柊也)

令和7年度第25回高校生ものづくりコンテスト全国大会
電気工部門 優勝

○書道(1A 大坪 風雅)

令和7年度茨城県高等学校総合文化祭
美術展覧会書道の部入選

○国語科(1A 宇都木 望麓 1B村上 煌輔)

令和7年度 第17回 なめがた狂歌 第2期応募作品 入選

○ウエイトリフティング部

2C 加藤 海心

・令和7年度 茨城県高等学校ウエイトリフティング競技新人大会
男子79kg級 第1位 トータル176kg

2C 薬丸 陽斗

・令和7年度 茨城県高等学校ウエイトリフティング競技新人大会
男子88kg級 第3位 トータル180kg

1B 村上 煌輔

・令和7年度 茨城県高等学校ウエイトリフティング競技新人大会
男子+94kg級 第1位 トータル238kg

ウエイトリフティング部壮行会

令和7年度第41回関東高等学校 ウエイトリフティング競技選抜大会 壮行会

2C 加藤 海心(かとう かいしん)

2C 薬丸 陽斗(やくまる はると)

1B 村上 煌輔(むらかみ こうすけ)

ウェイトリフティング部壮行会

学校長 激励の言葉

皆さん、おはようございます。

本日ここに、令和8年1月9日から神奈川県で開催される「第41回関東高等学校ウェイトリフティング競技選抜大会」に出場する3名の選手の壮行会を挙行できることを、大変嬉しく思います。

まずは、厳しい県予選を勝ち抜き、見事に関東大会への切符を手にした3名の選手を改めて紹介します。

2年C組 加藤 海心(かとう かいしん)さん(79kg級)

2年C組 薬丸 陽斗(やくまる はると)さん(88kg級)

1年B組 村上 煌輔(むらかみ こうすけ)さん(+94kg級)

ウェイトリフティングという競技は、一瞬の爆発的な力の中に、繊細な技術と強靱な精神力が凝縮されたスポーツです。日々の練習で、重いバーベルと、そして自分自身の限界と向き合い続けてきた皆さんの努力に、心から敬意を表します。

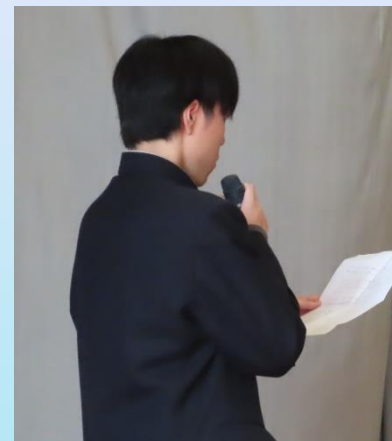
今回の舞台は、神奈川県立スポーツセンターです。この大会は単なる関東の頂点を決める場であるだけでなく、3月に石川県金沢市で開催される全国選抜大会への試金石でもあります。

基準記録を突破し、ランキングの上位に入れば、全国の舞台が待っています。皆さんがこれまで積み重ねてきたトレーニングを信じ、試技の瞬間に全神経を集中させてください。「重い」や「辛い」と感じる瞬間、会場にいる仲間や先生方、そして我々学校全体の応援が皆さんの背中を押していることを思い出してください。

加藤さん、薬丸さんは2年生として、これまでの経験を自信に変えて、村上さんは1年生ながら関東・インターハイで入賞した経験を活かして、恐れることなく果敢に挑んでください。

今年はインフルエンザの流行が早くから始まり、現在も患者数が多い状態が続いております。また、一年で最も寒い時期を迎えようとしています。体調管理にはくれぐれも注意してください。

それぞれの目標を達成し、朗報を持ち帰ってくれることを期待しています。神奈川の地で、皆さんの力が最大限に発揮されることを願い、激励の言葉といたします。選手の皆さん、頑張ってください。



生徒会代表より激励の言葉

生徒会長 櫻井 景斗(原文)

ウェイトリフティング部の薬丸さん、加藤さん、村上さん、関東選抜大会への出場、おめでとうございます。

皆さんは、どんな時でも一生懸命練習をしてきました。努力を続けてきた皆さんならきっと大会本番でもこれまでの練習の成果を存分に発揮できると思います。

年末年始で大変かと思いますが、大会まであと2週間の練習時間がありますのでぜひ悔いの残らないように準備してください。

そして、皆さんが関東選抜大会で大いに活躍され、晴れ晴れした気持ちで凱旋されることを願っています。

精一杯チャレンジしてください！

12月23日（火）閉講式 校長訓話

皆さん、おはようございます。

本日、こうして無事に冬季休業前の閉講式を迎えることができましたことを、誠にうれしく思います。

4月から振り返りますと、本校生徒の皆さんが取り組んできた「ものづくり」への情熱、そして部活動における真摯な努力が、例年以上に大きな成果として結実した一年であったと実感しております。まずは、その素晴らしい成果を皆さんと改めて共有し、心から称えたいと思います。

「第25回高校生ものづくりコンテスト全国大会」電気工部門においては、見事優勝を果たし、昨年に続く全国大会2連覇という快挙を成し遂げました。また、「若年者ものづくり競技大会」においても、準優勝という大変立派な成績を収めています。

運動部では、ウエイトリフティング部が関東大会およびインターハイで入賞を果たし、年明けに行われる関東選抜大会への出場を決めました。

さらに、「ロボットアイデア甲子園」全国大会での準優勝、理工系分野における女子生徒の活躍を推進する「STEAMコンテスト」では、県内10校・19チームの中から第3位に入賞するなど、多方面にわたる活躍が見られました。

また、野球部は、3校合同チームという大変難しい環境を乗り越え、夏の県大会で見事に勝利を収めてくれました。玉工祭においても、学科の枠を超えた生徒たちによる竹灯りの製作・展示など、本校ならではの創意工夫あふれる取組が見られました。

これらの成果は、決して偶然ではありません。皆さん一人ひとりが、年度当初に私からお伝えした「4つのお願い」を、日々の学校生活の中で着実に実践してきた結果であると確信しています。ここで、改めてその4つのお願いを振り返ってみたいと思います。

一つ目は、「約束と時間を守る」ことです。全国大会で結果を残す選手たちは、日々の練習時間を決して疎かにしません。一分一秒を大切に積み重ね、小さな約束を守り続けることが、大舞台でも動じない自信と、周囲からの信頼につながったのだと思います。

二つ目は、「迷ったときには一度立ち止まる」ことです。大会やコンテストの準備の中で、思うようにいかず、壁にぶつかった場面もあったことでしょう。そのようなとき、慌てずに立ち止まり、自分自身と向き合った経験が、より良い判断や新たな発想を生み出したのではないのでしょうか。

三つ目は、「困っている友達を見かけたら、先生に相談する」ことです。誰かの小さな変化に気づき、思いやりをもって行動することは、大変尊いことです。一人で抱え込まず、大人を頼る勇気を持ってください。その行動が、誰かを支え、救うきっかけになります。

そして四つ目は、「お互いに認め合う」ことです。STEAMコンテストでのチームワークや、部活動で仲間と切磋琢磨する姿は、自分とは異なる考えや価値観を尊重し合ったからこそ生まれた成果です。自分を大切にすると同じように、周囲の人を尊重する温かい心を、これからも大切にしてください。

明日から冬休みが始まります。この期間を利用して、これら4つのお願いが、自分の生活の中でどのように実践できていたか、ぜひゆっくり振り返ってみてください。

特にウエイトリフティング部の皆さんは、1月の関東選抜大会に向けて調整が続くことと思いますが、体調管理には十分留意してください。

一月の開講式で、さらに成長した皆さんの姿に会えることを、心から楽しみにしております。



12月23日（火）生徒指導部長講話

冬季休業を前に時間をいただき、ありがとうございます。

今年度の振り返りを含めて、3つのことについて話すので、聞いてください。

1. 今年度の振り返り

令和7年度、12月現在の問題行動件数は22件でした。前期終業式の講話で話したように、前期の問題行動件数は7件でした。結果として後期に問題行動件数が増加することにはなりましたが、前期が7件に留まることができたのは、生徒の皆さんが協調性をもって生活できたからだと思います。人はだめな方に目が行きがちですが、振り返るときには出来たことにも目を向ける必要があると思います。後期の問題行動件数増加はだめなことです。後期も前期に続けて自制心を持って生活するべきでした。しかし、前期に協調性をもって生活できたことも忘れずに、改めて自分の行動を見直して生活してほしいと思います。今年度の問題行動の傾向として、その場の雰囲気流されて『これくらいなら』や『ばれなければ』という安易な気持ちがありました。これからは自分の行動が無責任にならないように、前期のような協調性をもって生活していきましょう。

2. 年末年始の事件事故の防止について

話したいことは、事件事故の防止についてです。起きた後にどうするかは重要ですが、まずは起きる前に気をつけてほしいと思っています。喫煙、飲酒、大麻、原付バイクや自動車の事故や危険運転、闇バイト、SNSでの誹謗中傷、いじめ等、気をつけるべきことは多々あります。特に年末に向けて交通事故が多くなる傾向にあります。3年生は自動車運転免許を取得した生徒もいるかと思いますが、毎年のように高校3年生が冬季休業中の自動車事故で命を落としています。進路が決定し、卒業を控えたこの時期に命を失うことがないように、十分に注意しましょう。また、学年問わず、自転車やバイクの事故に遭わないように十分に注意しましょう。

3. 来年に向けて

年末年始は楽しいイベントが多く、生活リズムが不規則になりがちです。生活リズムが崩れると、体調だけでなく心の調子も悪くなります。これは私が11月に20年以上ぶりにインフルエンザになって感じたことですが、体調が悪いと本当に気分が下向きになります。逆に体調が回復すると、何事も前向きに考えられるようになります。2026年が良い年になりますように、まずは体調を整えて年明けを迎え、次に心を前向きにできるようにしましょう。1月8日（木）の開講式に皆さんがすっきりとした前向きな気持ちで登校してくることを願っています。